

日本語での交換留学

「La Sapienza」大学

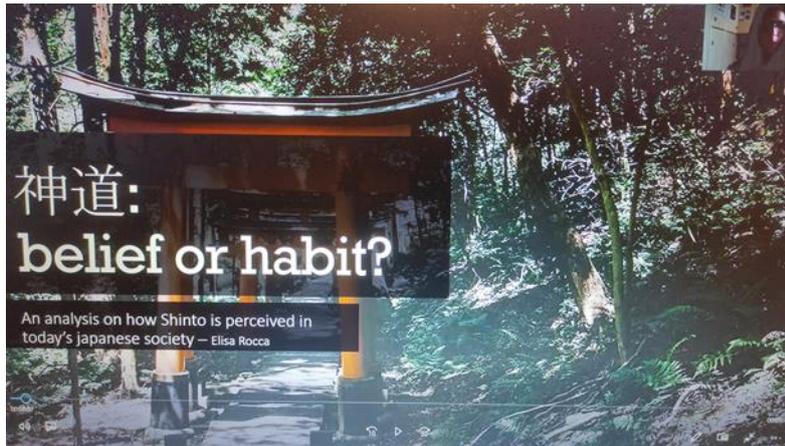
ロッカ エリザ

私はイタリアからの交換留学生で、東京のお茶の水女子大学で1学期を過ごしたロッカエリザです。大学では日本語を学び始めましたが、以前から日本の言語や文化に興味があって、「La Sapienza」大学で日本での交換留学プログラムに参加する機会があることを知って、応募することにしました。私が選ばれたという知らせを受けた時、これほど嬉しいことはありませんでした。お茶の水女子大学での授業に参加することは素晴らしい経験となりました。

残念ながら世界情勢の影響で行くことができず、ローマからオンラインで前期を受講することになりました。また、イタリアは日本から遠く離れているため、時差の影響を受けて、非常に疲れることもありました。朝の4時や6時からのレッスンもあって、言葉に対する情熱や、上達したい、学びたいという気持ちはあっても、本当にかっかりする日もありました。苦勞しても、このようなプログラムに参加できることをとても嬉しく思っていることを自分のベストを尽くして伝えようと思いました。

この経験で一番良かったのは、日本人の先生や他の交換留学生と、距離はあるものの知り合えたことでしょうか。辞めていけばもっと深い関係を築けたのではないかと思うと悲しくなりますが、それでも充実した数ヶ月間でした。先生方はフレンドリーで親切で、質問に答えてくれたり、困ったときに助けてくれたりしました。レッスンに参加して他の生徒と意見を交換したり、異文化に触れることができ、楽しかったです。ホームルームは、みんなで話したり、日本語を練習したりできる最高の時間でした。

期末試験は、振り返ってみると大変でしたが、面白い思い出になりました。いくつかのコースでは、自分のプロジェクトを他のお茶の水女子大生に発表しなければなりませんでした。私は彼女たちのためにアンケートを作成、日本文化に関してテーマでビデオプレゼンテーションを行って、その結果に満足しています。萩原先生のコースでは、今までやったことのないウェブサイトを作りました。特に松田先生のコースでは、世界各国から集まった40人以上の学生が私の発表を聞いて、コメントや質問を書いてくれました。東京に行っていれば、この数ヶ月をどうやって過ごせたかを思い起こさせてくれる、時に苦い経験ではありましたが、とても美しい経験でした。



教授や同僚との接触はオン

ライン授業だけだったので、紹介できるような写真はありますが、松田教授のために作成したプレゼンテーションの写真を撮ることにしました。非常に興味深いプロジェクトでしたし、このテーマは常に私を魅了してきました。また、今回のプレゼンテーションを作成するにあたり、他のお茶の水女子大生に Slack サイトを通じて書き込んで、意見を求める機会がありました。

まだまだ満足のいくレベルには達していませんが、満足のいく結果が得られました。次の学期には、この数ヶ月間にできなかったことをすべて経験しに行きたいと思っています。

最後に、萩原先生、ザグルール先生、韓先生、金先生、チャナントーン先生、松田先生方に感謝いたします。彼らの授業はどれもとても興味深く、多くのことを教えてくれました。また、小谷先生にはアドバイザーとして距離を置いたサポートをしていただき、感謝いたします。本当に素敵な人たちに出会えたので、またすぐにでも会いたいです。

このような素晴らしい体験に参加させていただき、ありがとうございました。